



(北海道大空町芝桜公園)

氷川町議会 清流 ひかわ

6月定例会

| | |
|---------------|-----|
| 平成29年6月定例議会報告 | p2 |
| 主な質疑 | p2 |
| そこが聞きたい 一般質問 | p4 |
| 議員研修 | p7 |
| 社協いきいきサロン | p12 |



© 2009 town HIKAWA

ひかりん

「ひかりん」は熊本県氷川町のPRキャラクターです。

議会だより

No. 25

平成29年8月1日発行

平成29年6月12日から16日までの5日間開催されました。
執行部から提出議案、報告3件、承認2件、条例1件、予算2件、その他1件、委員会で議案の説明、質疑が行われ審査の結果可決されました。本会議で各常任委員長より委員長報告があり全議案が全会一致で可決承認されました。

承認

承認第1号 専決処分報告及び承認について
承認第2号 専決処分報告及び承認について

条例

議案第28号 氷川町すこやか赤ちゃん出産祝金支給条例の一部を改正する条例について

予算

議案第29号 平成29年度氷川町一般会計補正予算(第1号)について
議案第30号 平成29年度氷川町後期高齢者医療特別補正予算(第1号)について

その他

議案第31号 工事請負契約の締結について

主な質疑

◆氷川町すこやか赤ちゃん出産祝金条例の一部を改正する条例について

河口議員 すこやか赤ちゃん出産祝金の受給資格者の町内に居住及び同居ということの居住を外すこと、養育をしている者を入れる。に変更するか。

町民環境課長 同居を外す件ですが、当該子どもにも町内に居住することで同居していると理解できると考えています。2番目の質問の、養育している者は、規則では申請出来るとしていましたので、合わせて条例で明記したものです。

河口議員 その当該子を養育する者は、どこまでに限定されますか。

町民環境課長 親権者の死亡もしくは離婚等により、やむを得ない事情で養育している者と考えています。

◆平成29年度一般会計補正予算(第1号)について

江崎議員 町長にお伺いしたいのは、

合併特例債をこれまで66億6千万円使われていますが、あと残り起債可能枠が24億3千万円となっています。平成29年度末の見込みでは、17億円で残額があります。となっています。合併特例債も当然、償還があります。今後事業計画があるのか。

藤本町長 合併特例債も借金ではありません。必要な事業は実施しなければなりません。残り17億円ありますが、全部起債をすることは考えていませんが、宮原処理区の下水道の広域編入にも相当の資金が必要となります。一昨年に財政計画を作成し、今後の10年20年先の、町の経営ができるのかを、管理しながら起債を起していきます。十分注意しながら、今後も活用をさせていただきます。

江崎議員 合併特例債の使い方については、特に注意しながら、議会としても見守る必要があります。当該年度末で、68億円上がるので、財政的に心配しています。

もう一点は、防災行政無線事業で、9億4,440万円計上されています。緊急防災減債事業債が、充当率100%充当率70%で、計画されていますが、補助事業が無いのが、補助事業が付いてからでは遅いのか、どういう検討をされたのかお伺いします。

**こんなこと
決めました!**

総務課長 補助事業の確認については、県とも協議し、28年度で計画を作り上げたところです。昨年も政府要望をしたところですが、実現には至っていません。合併特例債を使って緊急にやる必要があるのか。ということですが、有利な緊急防災事業債と合併特例債を合わせながら3年間の事業になります。発行期限も平成32年が期限となりますので、計画しました。

江崎議員 危機管理室の増築、1億4千万円が予算されているが、場所と内容について、駐車場整備も含めて説明してもらいたい。

総務課長 危機管理室については、町長室の東側になります。防災対策本部室が132.09平方メートル、無線室が29.84平方メートルで、副町長室から廊下を通して入ることになります。副町長室も改修します。熊本地震では、多数の関係者が入る部屋がなく、今回は80名が入れる広さで、いろいろのシステムも設置予定で、10億を超える事業費となっています。駐車場については、現駐車場まで対策室が係ってきますし、文化センターが避難場所にもなっています。役場駐車場も不足しますので、役場向かい側に計画しました。

安全

江崎議員 備蓄倉庫はかさ上げをし、今回の危機管理室は必要なのか。町長はどういう考えですか。

藤本町長 水防備蓄倉庫を作りました時は、物資の搬出に車がそのまま付けられ、荷台に積める構造で、高さが決まったものです。水害を想定したものではありませんでした。今回の、危機管理室は役場と同じ高さで計画しています。

安心



高齢者福祉政策について



江崎 悟 議員

議員 高齢者福祉政策の単独事業の長寿祝い金、食の自立支援、おむつ購入費の支給、町のシルバー人材等について、現状と課題をお伺いしたい。

健康福祉課長 長寿祝い金につきましては、高齢者の長寿を祝福するとともに、福祉の増進と市民の敬老意識の高揚を図ることを目的に、88歳に到達される方に1人2万円、100歳に到達される方に1人5万円を祝い金として支給しているものです。現状を平成28年度実績値でお答えいたしますと、88歳対象者88人、100歳対象者2人の方々に支給しているところでございます。

議員 9月1日時点で、1年以上住んでなければ、この長寿祝い金はもらえませんというルールになっているが、その人がずっと住み続けて、次89歳になったときは1年以上住んでいないんだけど、支給の対象にはならないんですか。

健康福祉課長 条例上では9月1日、1年以上ということになっておりますので、現時点では、その時点で1年を住んでいない、1年間経過していないという場合は、支給をできないという判断で対応いたしております。

者負担金3000円で昼食と夕食の配食サービスを事業委託し提供しているものです。こちらも現状を平成28年度実績でお答えいたしますと、配食数年間延べ3万3743食、月平均にいたしますと、2、812食、利用者数年間延べ1、053人、月平均にしますと約88人のご利用となっております。現時点では味の好み等のご意見は様々ないただいているところですが、事業全体としての課題の認識はいたしております。

議員 食の自立支援ですが、これ非常に喜んでおられます。支給基準は、65歳以上の1人暮らしの高齢者、または高齢者のみの世帯で、そのときにこの方が、自分で食事の調理ができない。または困難なという判断の確固たる基準が見えないが。

健康福祉課長 申請を上げていただいた、それに係る民生委員さんと状況を伺う方からの意見を付していただく。もしくは、それに該当するケアマネジャーさん等のご意見をいただくという流れで、総合的に判断します。

議員 申請があつて断った人はおられますか。

健康福祉課長 2件、状況において、支給の対象にならないということで、断った場合がおります。

議員 3点目のおむつ購入費支給につきましては、氷川町介護保険市町村特別給付事業として取り組んでいるものでございます。要介護高齢者を在宅で介護されている方の身体的経済的負担を

軽減することを目的に、紙おむつ等の購入に係る費用の一部を町が給付するものです。対象者は現に、町内に住民登録された方で、自宅で介護を受けている方、なおかつ要支援2以上の認定を受けた方になります。給付額は1カ月当たりおむつ購入費に要した8割を町が給付しますが、1人1万6,000円が上限となります。また、1カ月におむつを2万円購入した場合、町からの給付額1万6,000円、自己負担4,000円という計算になります。さらに2万円を超えて購入した場合は、超えた額が自己負担に加算されることとなります。なお、おむつ購入については、氷川町内の指定店6店舗以外からの購入は給付対象となりません。本事業については、他市町村での取り扱いが少なく、氷川町独自の在宅の高齢者を支援する有効な事業と捉えております。

議員 おむつ購入費支給は、在宅の方に限るとしてありますが、町内の子どもの家や賃貸住宅に住んでいて、住所を変更してない場合は対象とならないのか。

健康福祉課長 住所要件で氷川町にお住まいということで、おむつの購入費の支給を受けることは可能と思っております。

議員 4点目の町シルバー人材センターは、定年退職者等の皆さんの労働能を活用し、自らの生きがいづくりや社会参加を促進することにより、高齢者の能力を生かした活力ある地域づくりを寄与されることを目的とした団体です。会員数も75人と昨年より10人少なくなるなどの課題

も見られるとの報告がありました。た。

議員 社会福祉協議会の現状と課題についてお伺いします。この高齢者福祉を語るに当たって、社会福祉協議会がキーになって今やっておられる。その社会福祉協議会の活動次第によって、氷川町の高齢者の方たちの支援が決まって行くと考えられます。

包括支援センター、地域支え合いセンターについてお伺いしたい。

健康福祉課長 事業所を宮原福祉センターに設置し、常勤職員6人により次の業務を行っております。福祉医療、認知症に関する相談受付や、福祉サービス利用に関する制度等の紹介、情報提供を行う総合相談支援業務、要支援認定者、要支援1、2の方々が介護が必要にならないよう自立して生活できるように、効果的なサービスの計画を作成、調整する介護予防ケアマネジメント業務、認知症家族や高齢者の方々が集い、情報交換の場となる「ふれあいカフェ」の開催など、以上、主に介護予防を目的として様々な情報提供支援を行っているところでございます。

次に、地域支え合いセンターにつきましては、平成28年熊本地震における被災者の孤立防止等のための見守りや、支援や、日常生活上の相談支援、生活支援など被災者に対する支援を目的に、平成28年11月1日に設置したものです。運営を社会福祉協議会に事業委託し事業実施に当たっては、主任生活支援員1人、生活支援相談員2人、生活

支援補助員3人、事務職員1人の計7人で取り組んでいるところでございます。

議員 包括支援センターでは、これ介護者数が増えている。支援1、2の方たちがずいぶん増えてきている。その割には、正職は3人ですか。あと非正規が3人で回している。業務内容は正職員と同じように動かれています。正規職員として充実させられないか。

藤本町長 包括支援センターの果たす役割は、これからますます大きくなっていくと思っておりますし、これまでもその役割を果たしてきております。そういった中で、充実をさせていくのはどうかというご提案もございまして、今、八代地域で八代市と氷川町、それから郡の医師会、八代市の医師会、熊本県一緒にになりまして、八代地域の医療と、いわゆる在宅の医療と介護ですね、これからこういった質をつくっていくのかということと連携協定を結びまして、今年の4月から、八代市役所の飯庁舎のほうでセンターを設けて、こういった仕組みをつくった、それを担っていくのかということ話を始めたところでございます。そういった中で、当然、それぞれ個々の支援センターの充実というのでもこれから議論になってくるのかなというふうにも思っております。必要なら人員はきちんと確保しながら仕事をしたいかなければならないというふうにも思っております。

一般質問



三浦 賢治 議員

議員 私の一般質問は、氷川町長選挙の立候補についてをお尋ねしたいと思っております。藤本町長におかれましては2期目の4年間、基幹産業の活性化、福祉の向上、教育環境の整備などの事業推進力に判断力、実行力を発揮され、また昨年の熊本地震の復旧・復興にリーダーシップをもって再建に当たられ、藤本町長の行政手腕が高く評価されています。政治理念であります「市民が安心して暮らせる幸せを実感できるまちづくり」がさらに発展させるため、藤本町長への出馬に大きな関心を寄せられております。藤本町長の氷川町長選の出馬表明について、お考えをお聞かせいたします。

藤本町長 私の2期目の任期も残すところ9カ月となりました。まずは、この4年間を振り返ってみたいと思っております。

一昨年の台風15号、昨年1月の大雪寒波、そして4月の熊本地大地震と、自然災害の多い4年間であったなという思いがござります。そういった中で議員各位をはじめ職員並びに市民の皆様方のご支援によりまして、何とかやっていった災害から乗り越えていくというところがございます。特に、職員の皆さんには、本当に昨年の地震のときには不眠不休の対応をしていただきました。おかげで、この災害からも乗り越えることができたのかなという思いをしていただいております。

産業面 で申し上げますと、2期目に入りまして、新嘗祭に献上します献穀田の事業を取り組みました。農業立町を表明します氷川町にとりましては、この機会であつたのかなというふうにも思っております。

中大野地区に2ヘクタールのメガソーラーが完成をいたしました。遊休地でありました農地を別の使い道にするという一つの流れができたところでござります。今後、も農地は農地として、あるいは遊休地は別の使い方というも模索していかなければならないのかなという思いがござります。

懸案でありました電北地区の排水対策につきましては、1期目の平成22年度に検討委員会を設置をし、調査、研究、協議を行いました。平成27年度に、県営の漏水防除事業として採択をいただきました。昨年度から事業に着手することができております。併せて、関連する支線の排水路の改修も計画的に進んでいるところでござります。

農地集積加速化事業 に取り組むみ、野津南、アグリ吉野、アグリ鹿島、3つの農事組合法人の設立が図られたところであります。現在、南(鹿野)地区におきまして、も合意形成が進んでおります。平成29年度からは(中大野)地区におきまして、合意形成を取り組んでいるところであります。農業経営の二つのあり方として、この農事法人組合というものを今後必ず活用できるものと思っております。

商工業の面では、住宅リフォーム事業によりまして、町内の中小建設業をはじめ商工業の活性化に寄与しているものと思っております。併せて、新たに若手後継者の経営革新への支援、経営の持続に必要な機械設備、あるいは創業支援も取り組みを始めたところであります。

秋山幸二キャラーを整備いたしました。多くの皆様方に来館

をいただいております。観光資源の一つになっているのかなと思っております。

教育面では、小中学校の校舎並びに体育館等の耐震化と大規模改修が終わりまして、定例会にも予算を計上しておりますが、あと電北東小学校、電北西部小学校のプールの改修が終わりますと、すべての設備の改修が終わります。ICT機器の授業への活用が図られております。今年が3年目ということで、今年度でちょうど機械の導入が終わるわけでございますが、これからそれをしっかりと活用した学習が進んでいくものと期待をいたしております。学校支援員11名を町単独で配置をして、それぞれの授業のサポートを行っております。

また、八八図書館と宮原振興局を新しく新築整備をいたしました。大野窟古墳が国の指定史跡になり、立神峠が国指定の名勝地に指定をされたところであります。保健予防及び福祉面でございます。「ふれあいいきいきサロン」と「かわあいきいきサロン」現在、34地区で実施をされております。残り5地区で始まりまして、すべての地区でこのサロンが始まるというところまで来ております。

人間のドッグ及びがん検診の補助制度、それから子育て支援といたしまして、医療費の無料化、「すこやか赤ちゃん」お祝い金の支給、あるいは子育て支援センター等の充実を図っているところがあります。今後は、病中病後時の保育につきまして、郡医師会との連携を図りながら進めていきたいと思っております。

生活環境面 では、長年の懸案でありました、県道氷川八代線の

大野交差点及び本山地区の拡幅改良が今進んでいるところであります。島崎川国道暗渠部の改修が完了いたしました。今後は下流部を熊本県が、上流部を氷川町で改良することといたしております。

下水道事業の電北処理区の整備が本年度で完了をいたします。今後は宮原処理区の八代北部流域への編入について、合意がいただけそうございまして、今後は計画の策定、それから設計、施工という運びになっていくのかなと思っております。ただ、事業完了までは向いて5年か6年かかるという計画でございます。

移住・定住を目指す空き家バンクの創設、町営住宅の長寿命化に向けた改修、道路、河川及び橋梁の計画的な改修も暫時進んでいるところであります。

昨年、アクセス道路が全線開通いたしました。宇城・氷川スマーティンターチェンジにつきまして、1日平均1,800台の乗り降りがあります。また、通り抜けの車両も含めると、アクセス道路の利用台数は大体1日8,000台を超える利用があつて、このことは今後の地域活性化へ大きく期待できるものと思っております。活用を図っていくかなければならないと思っております。

鏡消防署氷川分署の建設 については、本年度、建設をいたします。併せて、町の単独の防災備蓄倉庫も併設をする予定といたしております。

防災行政無線のデジタル化への再整備、本年度から平成31年度までかけまして再整備を行うことといたしておりますし、第2次の氷

川町総合振興計画の策定にも昨年度から着手をし、本年度をつくり上げることをいたしております。私の政治理念であります「市民の皆様方が安心して暮らせる、幸せを実感できる氷川町」に向けて、着実に前進しているものというふうにも感じているところであります。

1期目で種をまき、芽を出し花が咲いた事業、また2期目で種をまき芽を出した事業をしっかり育て、花を咲かせ、結実させていかなければなりません。また、さらには新しい種をまいていかなければならない課題も多くあるところであります。

以上、答弁いたします。

以上のようなことを総合的に判断することにも、気力も体力も衰えることなく充実しております。支援者の皆様方並びに多くの市民の皆様方からも後押しの声がありますので、来る10月22日に執行されます氷川町長選挙に、3期目を目指して出馬することを決意したところであります。

議員 たい、3期目を目指して出馬を決意されたとお聞きし、大変心強く、またうれしく感じるところでございます。2期8年の藤本町長の町政に対する姿勢を拝見してまいりましたが、常に市民の立場に立ったきめ細かな町政運営を充実され、様々な分野の課題を解決し、着実に成果を残しておられます。10月の町長選挙において、見事、再選を果たしていただき、市民の皆様が安心して暮らせる幸せを実感できるまちづくりに向け邁進していただきますようお願い申し上げます。私の一般質問を終わります。

一般質問

氷川町長選挙への立候補について

当委員会に付託された案件につきまして、委員会における審査の結果並びに結果について、ご報告申し上げます。
当委員会に付託された案件は、承認1件、条例1件、予算2件であります。

最初に、「承認第2号、専決処分報告及び承認について」と「議案第28号、氷川町すこやか赤ちゃん出産祝金支給条例の一部を改正する条例について」は、質疑及び意見は無く、採決の結果、全員賛成で原案のとおり承認・可決すべきものと決しました。
次に、議案第29号「平成29年度一般会計補正予算（第1号）」について、

清田委員 「新規就農者等支援員について内容は」という質問に対し、

農業振興課長 「青年就農給付金の制度が、今年から農業次世代人材投資事業に名称が変更になりサポートをする体制へ変わりました。経営技術、農地の確保、農業資金の3部門からなり、JAや県、指導農業士、農業委員会等の9組織で支援して行くこととなります」との答え。

建設下水道課長 「昭和56年5月31日以前の建物になります。住民の方への周知は、区長会で説明し、広報誌で行います」との答え。

江崎委員 熊本県戸建木造住宅耐震改修等促進事業の対象は」という質問に対して、

建設下水道課長 「昭和56年5月31日以前の建物になります。住民の方への周知は、区長会で説明し、広報誌で行います」との答え。

清田委員 「被災宅地復興支援事業とは何か」という質問に対して、

建設下水道課長 「宅地の復旧に対し、個人負担

を支援するものです。のり面の復旧や擁壁、地盤改良や基礎等も行える事業です。自己負担限度額は50万円となっております」との答え。

江崎委員 「公有財産購入費と補償補填で立木補償金があるが内容は」という質問に対して、

建設下水道課長 「公有財産購入費は、河原鹿島西網道線で18㎡、太尾刈菅橋線で20㎡、立木補償金は河原鹿島西網道線を予定しています」との答え。

質疑については以上で、採決の結果、全員賛成で原案のとおり可決すべきものと決しました。

次に、議案第30号「平成29年度氷川町後期高齢者医療特別会計予算（第1号）」について、

笠原委員 「被保険者の負担割合は1割か」という質問に対して、

健康福祉課長 「所得割

もあり、現役並みの所得の人は3割となります」との答え。
質疑については以上で、採決の結果、全員賛成で原案のとおり可決すべきものと決しました。
各議員におかれましては、当委員会の決定にご賛同をいただきますようお願い申し上げます。
産業建設厚生常任委員会の報告を終わります。



農業体験

議会運営委員会

名古屋市議会・名古屋中央卸売市場 他

平成29年4月19～20日に米村委員長他6名、事務局合わせて8名で、名古屋市議会において、企業誘致に状況と施策についてと議会改革について説明を受け、その後、議連の委員長・副委員長と議会運営状況について意見交換を行った。また、名古屋市中央卸売市場を訪れ、氷川町の農産物の流通状況の説明を名古屋青果㈱の社長他役員から受けた。



名古屋市議での説明



名古屋中央卸売市場（名古屋青果㈱）

総務文教常任委員会

福岡県 大木町・広川町

平成29年5月10日に三浦副委員長他4名、事務局、教育課長合わせて6名で福岡県大木町と広川町で、学校のエアコン設置について説明を受け、小学校と中学校の視察を行った。



広川町 広川中学校での説明



大木町 木佐木小学校職員室

産業建設厚生常任委員会

沖縄県 北谷町・恩納村



沖縄通信所での説明



北谷町観光情報センター



北谷町海業振興センター

全体研修「議員研修」

北海道 大空町・上川町・北竜町



道の駅の説明



北竜町での説明



乳酪館のチーズ製造説明



大空町での意見交換

平成29年6月26、27日に江崎委員長他4名、事務局合わせて6名で沖縄県北谷町の観光情報センターと海業振興センターを、恩納村にある沖縄通信所（宇宙航空研究開発機構）で視察研修を行った。

平成29年5月20、23日に片山議長他9名、藤本町長、事務局合わせて12名で、友好町村である北海道大空町での施設視察や意見交換、芝桜まつりを視察した。上川町のピシターセンターにおいては大雪国立公園の説明を受けた。北竜町では移住・定住施策について説明と意見交換を行った。

社協いきいきサロン



北鹿野サロン

(梅雨の時期の防災について)



今回のサロンでは、役場の方から梅雨時期の防災についてお話をいただきました。

西上宮サロン

(レクリエーション)



2チームに分かれて得点を競うレクリエーション。一進一退の展開に参加者の皆さんから大きな歓声が上がっていました。



編集後記

水田に植えられた苗が日毎に成長し、緑の景色が広がっていく様はどことなく私達の心にやすらぎと安心を与えてくれる気がします。

6月議会も終わり、私達の任期中の議会も残すところ9月議会のみとなりました。

町民の皆様と議会を結ぶ架け橋として、できるだけわかりやすい紙面づくりに努めてきたつもりですが、限られた紙面の都合上、議会の様子が充分伝わったのか、町民の皆様に興味を持って読んで頂けたのか、そんな思いを心に留めながら、これからも町民の皆様の期待に応える紙面作りに向けて、委員一同努めて参ります。



議会広報委員会

委員長 三浦 賢治
副委員長 清田 一敏
委員 上田 俊孝
委員 松田 達之

次号は平成30年2月発行予定